

## 11月5日 学芸会 児童鑑賞日での挨拶

皆さんがこれまで頑張って練習し、準備をしてきたことを、大勢の人たちの前で発表する日を迎えました。

学芸会も前半が終わり、これから後半に入りますが、素晴らしいなと思ったことを3つお話します。

1つめは、大きな声で言葉をはっきりと話し、みんなの心が一つになっていました。それぞれの役になりきって演技をしていたので、劇のテーマがよく分かりました。

2つめは、歌と身振りです。一人一人がどこに立つのか、どんな身振りをするのかがよく考えられ、工夫されていました。歌声も、とても素敵でした。

3つめは、大道具と小道具です。作るのは、とても大変だったと思います。衣装も工夫され、素晴らしかったです。

この学芸会を通して、皆さんは工夫する力、話す力、豊かに表現する力が身についたはずですよ。また、学年で練習し準備をする中で、助け合うことや協力することの大切さが分かったはずですよ。なかには、音響や照明係などを通して、陰で支えることの大切さが分かった人もいます。

また、劇を観ている態度が立派でした。熱心に耳を傾け、目を向けていたので、演じる人と会場の人々の心が一つになりました。

最後に、華やかな舞台を陰で支えてくれている6年生の皆さん、ありがとうございます。最後まで、よろしくお願ひします。

明日は、おうちの人や地域の方に観ていただく日です。今日と同じように、またそれ以上に、これまでの成果を発揮できるようにしてください。力を合わせ、心に残る素晴らしい学芸会にしていきたいと思います。